

杉本 草さん
政治学科一年



ミス・キャン決定



昨年十二月五日、大学の新しい呼び名として「ミス・キャン」が選ばれた。これは、大学のシンボルとして、今年度のミス・キャンの決定が行われた。今大会は、全校の六百名近い観客を集め、華やかなイベントとなった。

結果は、二百名近い観客を集めた杉本草さん(政治学科一年)が初代ミス・キャンとなった。また、候補として、栗山智恵さん(英文学科二年)と高嶋陽香さん(物理学科一年)の二人が選ばれた。広田裕生さんは、来年年度以降のミス・キャンにエントリーした。

昨年十一月五日、大学の新しい呼び名として「ミス・キャン」が選ばれた。これは、大学のシンボルとして、今年度のミス・キャンの決定が行われた。今大会は、全校の六百名近い観客を集め、華やかなイベントとなった。

北京大学と姉妹校に

学術文化の交流を 大学間協定、昨秋に結ばれる

昭和六十七年十月十六日、中国の北京大学と本学の間に学術協定が調印された。大学間協定の目的は、両大学において学術文化の交流を推進することである。この協定に基づいて、両大学は、いよいよ姉妹校となる。

協定の内容は、学術文化の交流の促進、交換留学の奨励、共同研究の推進、互いの大学に関する情報の交換、文化・芸術、出版物及び情報交換の促進、中国・日本の研究、語学教育の促進、相互間の共同研究、企画—といったものが含まれている。

協定は、両大学の学術文化の交流を促進し、互いの大学に関する情報を交換し、文化・芸術、出版物及び情報交換の促進、中国・日本の研究、語学教育の促進、相互間の共同研究、企画—といったものが含まれている。

協定は、両大学の学術文化の交流を促進し、互いの大学に関する情報を交換し、文化・芸術、出版物及び情報交換の促進、中国・日本の研究、語学教育の促進、相互間の共同研究、企画—といったものが含まれている。

学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話(986)0222内線607
発行・編集責任者
名和 達彦
年間200円

新年号

机窓明

「机窓明」は、自由と責任の両方を重視し、自己の心持を語り、その苦しみから解脱しようとする。しかし「自由」を宣言と誇り、責任を逃避しようとする者もある。結果として、自由を求めても、責任を求めないという状態に陥り、自己の存在を失ってしまう。この「机窓明」は、自由と責任の両方を重視し、自己の心持を語り、その苦しみから解脱しようとする。しかし「自由」を宣言と誇り、責任を逃避しようとする者もある。結果として、自由を求めても、責任を求めないという状態に陥り、自己の存在を失ってしまう。この「机窓明」は、自由と責任の両方を重視し、自己の心持を語り、その苦しみから解脱しようとする。しかし「自由」を宣言と誇り、責任を逃避しようとする者もある。結果として、自由を求めても、責任を求めないという状態に陥り、自己の存在を失ってしまう。

国文社

- ヘーゲル教育論集 上妻精編訳。ヘーゲルは一八一一年、ニルンベルクのギムナジウムの校長を務めた。本書はこの時期、給与の遅配などに悩まされながらも職務を全うすべく提出した報告書、式辞などから彼の教育思想を再構成する。 3500円
- ヘーゲル読解入門 「精神現象学」を読む A・コジエフ/上巻・今野訳。アロン、バタイン、クロンウスキー、ウアル、ラカン、メルロ＝ポンティ、サルトル等を前にして行われた講義をまとめた本書は戦後フランス哲学の動向を決定したと言っても過言ではない。 5500円
- ヘーゲル 「精神現象学」の現象学的解釈 E・フィンク/加藤精司訳。フッサールとハイデッカーを師とするフィンクが現象学・存在論の視点からヘーゲルの「精神現象学」を読み直し、ヘーゲルの哲学的思索を追究する。このなかで哲学がまったく新たに生ずる。 5000円
- 正統性の精神 ジャーン・グルニエ/西永良成訳。カミュの生涯の師は、「孤島の著作で知られる哲学者グルニエのフェイセイル集。本書は、グルニエが「正統性」について珍しく調子の高い文体で鮮やかに別括する反時代的考察の書である。 2000円
- 日常的実践のポイエティック ミシエルトセルト/山田登世子訳。日常的実践の技法、民衆の理性を現代の「知」の技法とし、現代のソフィストたらしめとする思想家セルト。待望の邦訳。(今村仁) 3900円(ポリゴノス版書)
- 漂流の思想 マルクスとフロイトからの漂流 J・F・リオタール/今村仁司他訳。社会の制度とシステムを変えようとする欲望の漂流である。68年の五月革命を契機としてまとめられた本書は、マテリアルな実践に迫るための理論装置として、「漂流」を構成する。(ポリゴノス版書) 3500円
- 新科学精神 栗山浩、佐藤真編著。今もつと面白い。自然科学と人文科学のフュージョンの領域で活躍している。木村敏、武者利光、清水博、佐村隆光、坂本賢三、花村誠一、浅田彰、佐藤良明等の各氏のインタビューで構成する。ゆらぎからダブルバンドにまで。 3200円
- ペストからエイズまで 人間史における疫病 リユフィエ/スルニア 中澤健雄訳。本書は先史時代から現代に至る数百年を通じての人類と病気の関係を進化論、生物学・医学・経済社会等多面的に跨った画期的研究であり、我々の生物の歴史を明らかにする。 3000円

